

知行合一

学校教育目標

夢実現
潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校だより第11号

令和4年2月24日

文責 校長 沖田 龍藏

「利を見て義を思い、久要、平生（へいぜい）の言を忘れざる、また以て成人となすべし。」「【論語】は、「利益よりも正義を大切にし、ずっと昔の約束を守る人は、誰からも信頼される人だ。」の意味です。

「1年間を総括(そうかつ)する中で、生徒一人一人の成長を実感！」

新型コロナウイルス感染症対策と教育活動との両立を図ってまいりましたが、オミクロン株の感染拡大が町内にまで及び、本校でも町教育委員会、専門機関と協議の上、臨時休業の措置をとりました。

3年生は、いよいよ公立後期選抜から卒業式を迎えます。校内でクラスターを起こさないようにと対応した次第です。日頃より学校教育へのご理解に感謝申し上げます。コロナ禍ではありますが、



2月2日は、田畑教諭が2年英語の授業研究会を行いました。10日には、第5回キャリア教育講話をオンラインで水俣市立総合医療センター看護師 千原 みどりさんと繋ぎ、職業観や夢の実現について語っていただきました。生徒は、「千原さんのように最後まで頑張れる職業に就きたい。」「夢を見つけたら、諦めずに努力して叶えたい。」「行きたい高校に行けるよう、数学等の勉強を頑張り、挑戦していきたい。」等、講話内容を自らの

の生き方に繋げていました。また、17日には、芦北警察署生活安全課 石村警部補と田浦駐在所高松警察官に来校いただき、「命を守る教育」の一環で不審者対応避難訓練を実施しました。いかに早く、職員間で情報共有を図り、生徒の安全を確保し警察へ繋ぐかが大切であると感じました。

18日は授業参観で予定していた担任による「熊本の心」の道徳授業と学年懇談会や臨時PTA総会の中で配付予定であった資料を通して、今年度の総括を紙面で行いました。学年主任からは、「自分たちで善悪の判断をつけ、互いに注意し合い、高め合う集団になった。」「挨拶、返事、聴く姿勢、学習に取り組む姿勢や相手を思いやる心が育ってきた。」「班活動において、集団が成長していけるような配慮ができるようになった。」「学級代表を決めるとき、進んで引き受けたり、自らの役割を積極的に行ったりする場面を多く見かけるようになった。」等、私も生徒の成長ぶりを実感しているところです。ただ、学校評価（保護者アンケート）では、健康教育は、う歯治療やコロナ感染対策の取組等の高い評価がありましたが、「自分から挨拶できる」、「積極的に家庭学習に取り組んでいる」は、昨年度に比較すると低下傾向が見られました。今年度の「心のアンケート」の生活面で見られる課題（ゲーム等のメディア使用時間が平日3時間以上の生徒が44%）を学校と家庭で連携し、生徒一人一人の「夢の実現」のため、改善の方向へ向かわせていきたいと思えます。なお、熊本県学力・学習状況調査及び町学力テスト結果は、個人シートをすでにご家庭に配付済みです。本校生徒は、全体的に見ると、平均値では1年生は県平均を上回り、2年生がやや下回った結果でした。詳細は、今後の学校の対策を含め、臨時PTA総会資料に記載しています。

「**星野富弘美術館詩画公募展**」（※星野美術館は3月13日まで、季節の常設展「冬」が開催中）

審査員賞 田端 麟 星野富弘美術館賞 浪辺 詩菜 入選 岡本 愛莉（敬称略）

「**芦北郡子ども美術展入選者**」※文化・芸術面もよく頑張っています。「**田浦中学校HP**」で検索を！

（版画・デザイン部門入選）1年田端 蘭伽 竹原 麻桜 山崎 愛侑 2年 山科 凜空
猪木 夏音 3年 橋本 空苗 浪辺 明依 田端 麟（敬称略）

（工作・立体部門特選）1年 田端 蘭伽 2年 山本 大馳 高佐 晴愛 3年 黒田 慈香